

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 20 年 1 月 10 日 (2008.1.10)

【公表番号】 特表 2007-513079 (P2007-513079A)
 【公表日】 平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)
 【年通号数】 公開・登録公報 2007-019
 【出願番号】 特願 2006-539072 (P2006-539072)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 K 35/12 (2006.01)
 A 6 1 P 25/14 (2006.01)
 A 6 1 P 25/28 (2006.01)
 A 6 1 P 25/16 (2006.01)
 A 6 1 K 39/00 (2006.01)
 A 6 1 P 25/00 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 C 0 7 K 7/08 (2006.01)
 C 0 7 K 14/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02 Z N A
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 K 35/12
 A 6 1 P 25/14
 A 6 1 P 25/28
 A 6 1 P 25/16
 A 6 1 K 39/00 H
 A 6 1 P 25/00 1 0 1
 A 6 1 P 43/00 1 2 1
 C 0 7 K 7/08
 C 0 7 K 14/00

【手続補正書】
 【提出日】 平成 19 年 11 月 12 日 (2007.11.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 特許請求の範囲
 【補正対象項目名】 全文
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

プリオン関連疾患を除く、ミスフォールディング及び／又は凝集タンパク質の蓄積が存在する神経変性障害又は疾患を治療するための薬剤組成物であって、薬学的に許容できる担体、並びに i) コポリマー 1、(i i) コポリマー 1 関連ペプチド、(i i i) コポリマー 1 関連ポリペプチド及び (i v) (i)、(i i) 又は (i i i) で活性化された T 細胞から選択される活性薬剤を含有する薬剤組成物。

【請求項 2】

前記神経変性障害又は疾患に罹患している患者において、疾患進行を低減し、且つ／又は神経変性から保護し、且つ／又はグルタミン酸毒性から保護するための、請求項 1 に記

載の薬剤組成物。

【請求項 3】

前記神経変性疾患又は障害は、ハンチントン病、アルツハイマー病又はパーキンソン病である、請求項 1 又は 2 に記載の薬剤組成物。

【請求項 4】

前記活性薬剤は、コポリマー 1 である、請求項 3 に記載の薬剤組成物。

【請求項 5】

プリオン関連疾患を除く、ミスフォールディング及び／又は凝集タンパク質の蓄積が存在する神経変性障害又は疾患を治療するための医薬品を製造するための、i) コポリマー 1、(ii) コポリマー 1 関連ペプチド、(iii) コポリマー 1 関連ポリペプチド及び(iv) (i)、(ii) 又は (iii) で活性化された T 細胞から選択される活性薬剤の使用。

【請求項 6】

前記神経変性疾患又は障害は、ハンチントン病、アルツハイマー病及びパーキンソン病である、請求項 5 に記載の使用。

【請求項 7】

前記活性薬剤は、コポリマー 1 である、請求項 6 に記載の使用。